

「農林技術アカデミー」へのお誘い

(公益財団法人) 農村更生協会・八ヶ岳中央農業実践大学校

1. 趣旨

八ヶ岳中央農業実践大学校では、農林業生産部門における最新・最高の生きた科学技術を自由闊達に論じ対話する場を設けるべく「農林技術アカデミー」を立ち上げました。ここでは、土壌・ミネラル・微生物・動植物・人間等の循環に支えられた農業の生物学的本質を踏まえ、異業種・異分野の技術を結集した現場からのオープンイノベーションを図ることを目的としています。そして、これにより結実する先進的科学技術は、地域や人間の背丈に合った方向で農業に咀嚼し、新たな時代にふさわしい先進的・多様な農業者の育成に資するとともに、農業の復権を通じて地域の創生に資するものとしします。

2. 当面の具体的課題

- ・土壌、微生物、ミネラル等に着目した環境保全型農業
- ・土壌－微生物－水と農業生産
- ・畜産・家畜
 アニマルウェルフェア／アグロフォレストリー
- ・農産・園芸
 連作障害回避／施設園芸革新／循環型園芸システム・アクアポニックス
 ／土壌改良資材の開発
- ・AI・IoTの活用
 農畜産物流通・需給の適正化
- ・農業と林業の連携による自立共生モデルの構築
 モデルフォレスト運動論／自伐林業の推進 等

3. 対象者

- ・教職員、研究科生、専攻科生等、八ヶ岳フォーラムメンバーを始め先進企業等の社員
- ・地域コミュニティのリーダー、地方公共団体、農林業関係団体、地場産業・団体等の役職員等
- ・農業教育に携わる各県の教職員等

4. 運営体制

- ・事務局は、八ヶ岳中央農業実践大学校総務部に置く。

5. 時期等

- ・原則として八ヶ岳中央農業実践大学校において、所謂「農閑期」(11月～3月頃)を中心に、セミナー等を年間4回程度開設する(試行実施)。